

# 支援の現状について

# 人的サービスに係る制度の現状

身体障害・知的障害

在宅

支援費制度

介護保険制度

施設

措置制度

18歳

40歳

65歳

精神障害

在宅

精神障害者居宅生活支援事業・社会復帰施設

介護保険制度

病院

医療保険制度等



## 在宅サービスを提供した市町村の数

	身体障害者	知的障害者	障害児	精神障害者
ホームヘルプサービス	2,328 (73%)	1,498 (47%)	1,051 (33%)	1,231 (39%)
デイサービス	1,144 (36%)	817 (26%)	1,162 (36%)	(注3)
ショートステイ	857 (27%)	1,449 (45%)	1,428 (45%)	419 (13%)

(注1) 上記の数字は、実際に在宅サービスを提供した市町村の数であり、実施体制をとっていたが実際には利用がなかった市町村は含まれていない。

(注2) カッコ内は全市町村に占める割合である。

(注3) 精神障害者については、同種のサービスを行う精神障害者地域生活支援センターが全国415箇所で開催されている。

(注4) 身体障害者、知的障害者、障害児については平成15年4月、精神障害者については平成14年度のデータである。

## 在宅サービス事業者数の比較

	支援費制度		
	身体障害者	知的障害者	障害児
ホームヘルプサービス	8,470 (291)	6,537 (195)	5,882 (174)
デイサービス	1,047 (103)	592 (71)	600 (84)
ショートステイ	1,065	2,514	1,809

(注1) 事業所数は、平成15年7月1日現在である。

(注2) 表の上段は、指定事業所の数である。

(注3) かつこ内は基準該当の事業所の数である。

## 施設数の比較

	身体障害者	知的障害者	精神障害者
通所更生施設	42	803	—
通所療護施設	134	—	—
通所授産施設	421	1,433	278
入所更生施設	104	1,381	—
入所療護施設	441	—	—
入所授産施設	194	214	26
生活訓練施設	—	—	248

(注1) 身体障害者、知的障害者、障害児については平成16年2月、精神障害者については平成14年度のデータである。

# 平成16年度障害保健福祉部予算（案）について

総額 6,942 億円（100%）

入所系サービス 3,127 億円（45%）	在宅系サービス 1,864 億円（27%）	手当 1,203 億円（17%）	その他 748 億円（11%）
施設訓練等支援費【入所】 2,253 億円（32%）	施設訓練等支援費【通所】 618 億円（9%）	居宅生活支援費 602 億円（9%）	

5

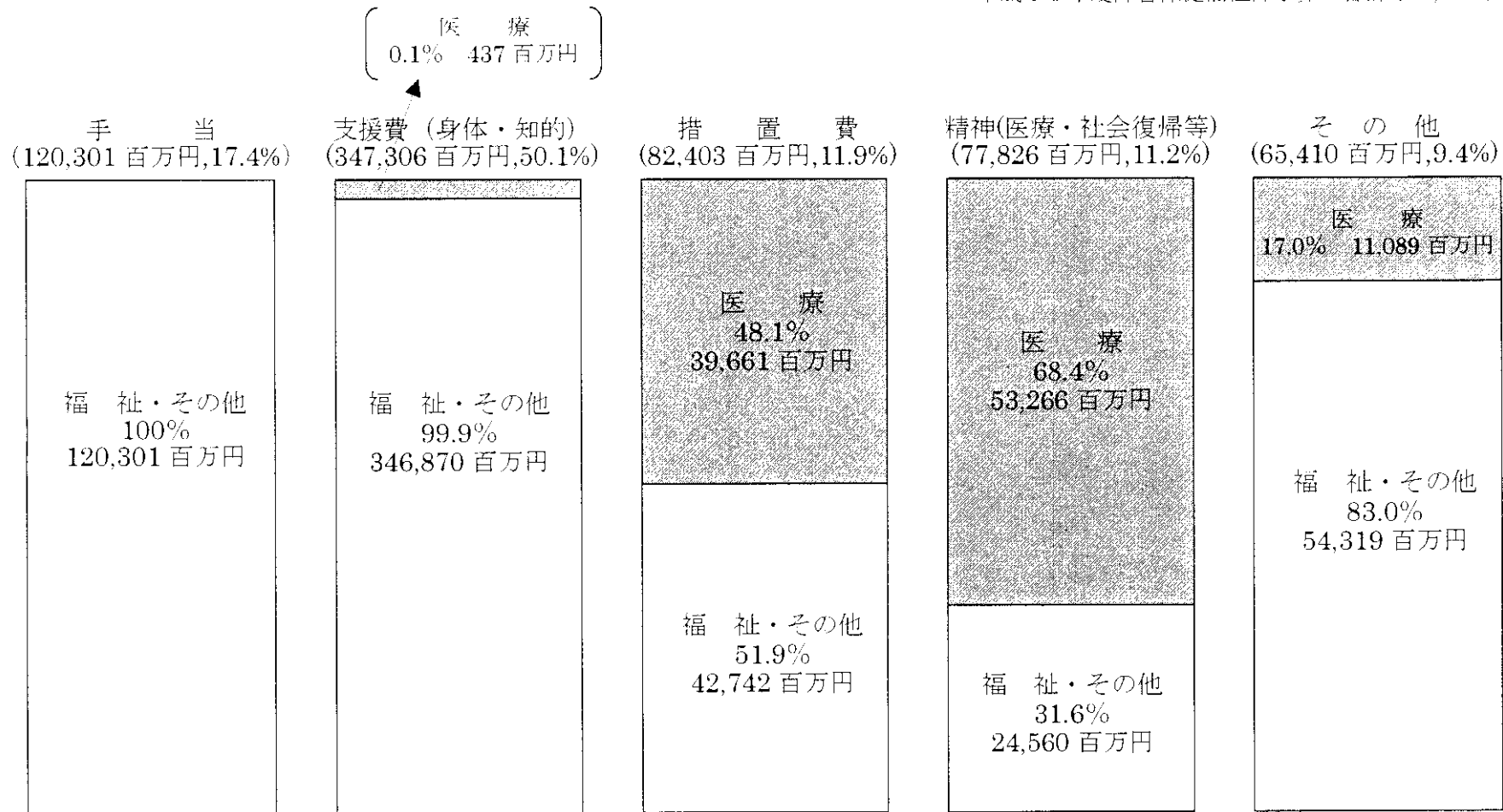
支援費総額 3,473 億円（100%）

施設訓練等支援費【入所】 2,253 億円（65%） 利用者 143,000 人（45%）	施設訓練等支援費【通所】 618 億円（18%） 利用者 58,000 人（18%）	居宅生活支援費 602 億円（17%） 利用者 117,000 人（37%）
--	---	---

注) 施設サービス利用者数（入所・通所とも）は、社会福祉施設等調査（平成14年10月）による。  
 居宅サービス利用者数は、厚生労働省障害福祉課調べ（平成15年4月）による。

# 福祉経費と医療経費の比較

平成16年度障害保健福祉部予算 合計 693,246 百万円



9

- ※ 本表には、公共事業分 (H16 度予算 918 百万円) を含まない。
- ※ 「措置費」には、児童関係施設、点字図書館、福祉工場等が含まれる。
- ※ 「その他」には、補装具、重症児通園事業、更生・育成医療、民間補助金等が含まれる。
- ※ 「福祉・その他」には、手当、施設・在宅サービス、相談事業、補装具等を含む。
- ※ 精神には上記の他、医療費として約 2 兆円が使用されている。